

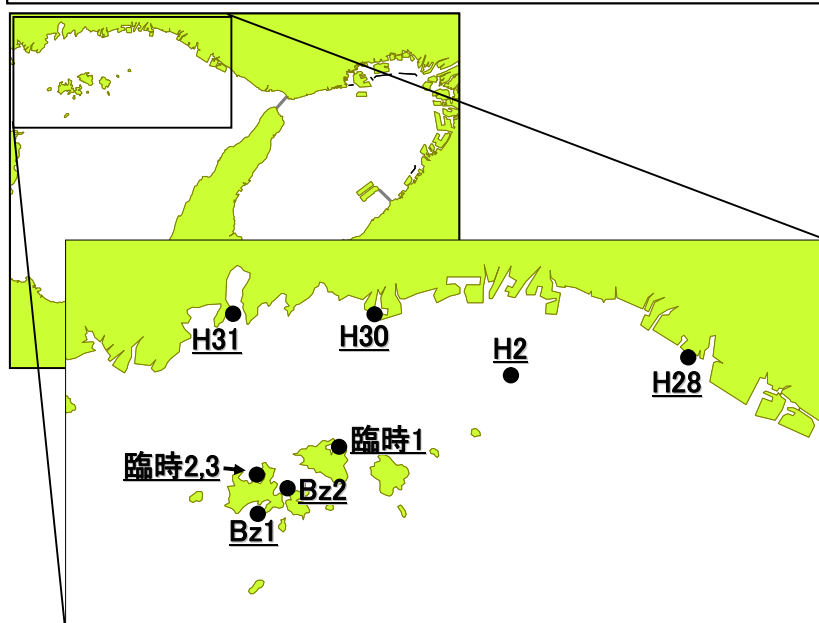
# 兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-29-10号(播磨灘北部)

平成29年8月10日発行

8月9日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部:定期調査及び臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

- 【概況】
- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトンの出現はごくわずかでした。
  - ・北部沿岸域では小型珪藻が優占していますが、有害な赤潮が発生しやすい時期ですので、引き続き、海水の着色や海色の変化にご注意願います。
  - ・貝類を斃死させるヘテロカプサ・サーキュラリスカーマは確認されませんでした。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度	
シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制: 10細胞/ml	警戒体制: 100細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制: 500細胞/ml	警戒体制: 5,000細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制: 50細胞/ml	警戒体制: 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オパータ	シャットネラ・グロボーサ	シャットネラ・ベルキウロサ	コクロディニウム・ポリクリコイテス	ヘテロシガマ・アカシオ
H2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	4	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
Bz1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
Bz2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時1(家島港内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時2(西島北側・湾奥)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	6	0
臨時3(西島北側・湾口)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】 次回は8月17~18日に定期調査(大阪湾・紀伊水道)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報AK-29-11号」として発行予定です。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 大石、宮原)  
Tel: 078-941-8602 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>